

- ◆企画名 peer 憩いの場 “はねやすめ”
日 程 2017年11月2日(木)～11月5日(日)
場 所 総合学生会館凧風館1階 ピアエリア、コラボレーションエリア
参加者数 11名(ピア・サポーター9名、研修生2名)
目 的

ピア・コミュニティの大きな課題として、団体の知名度がまだまだ低いという点が挙げられる。そこで、学園祭という大勢の人々が関西大学に集う機会を利用し、ピア・コミュニティについて気軽に知ってもらえる場を設けることで、団体への興味関心を喚起し、「おもしろさ」を感じてもらえるようにする。

また、本学学園祭は、毎年来場者数が多く大いに盛り上がっている一方で、正門からメインストリートは出店数が多くたくさんの人でごった返している。しかし、集う人々の割に休憩する場所が限られており、見つけ出すことさえ困難であるように思われる。ゆっくり座って休憩したり買った物を飲食したり、学園祭をより楽しむためにもちょっと一息つける場所にもしたい。

内 容

- ・凧風館1階のピアエリア、コラボレーションエリアにコラボレーションコモンズの備品をお借りして、飲食可能で座って休憩できるスペースを設けた。
- ・各コミュニティから活動中の風景を撮影した写真や、企画広報時に作成したポスターを提供してもらい、ホワイトボードなどを利用して掲示した。また、ピア・コミュニティの紹介映像を、プロジェクターを使用して放映した。
- ・企画場所には常時サポーター・研修生を配置し、ピア・コミュニティに関する質問を受け付けることができるようにした。

効 果

- ・今年度は合計731名が来場し、多くの方にピア・コミュニティを知ってもらうことができ、且つ休憩所として場所を提供できた。
- ・他コミュニティからの参加者と親睦を深めることができた。

改 善 点

- ・ピア・コミュニティの活動内容をより知ってもらうため、ピア・コミュニティの紹介パンフレットを受付だけでなく各テーブルにも配置し、手に取りやすくすべきだった。
- ・コンセントの使用は禁止されているため張り紙をしていたが、それでも携帯電話等の機器を充電している人がいたので見回りや事前対策を強化する。
- ・準備段階で担当者の仕事の割り振りが明確でないまま進行してしまうことがあったので、事前に仕事の割り振りをしっかり行い準備がよりスムーズにできるようにする。

感 想

今回の企画では、運営本部・他コミュニティからの参加者全員が協力し活動を行うことができ、全体の結束が強まる良い機会となった。これからも、学園祭という大勢の人々が集まる機会を利用して、さらに多くの人にピア・コミュニティについて知ってもらえるような企画を参加者全員と協力して行っていきたい。